

教育力向上福岡県民会議スケジュール(案)

	会 議	専門部会	地区分科会	備 考
7月	第1回会議(7/26) 委嘱状交付、基本的課題提示と意見交換			
8月	第1回議事録の送付・修正(8月上旬) 第2回会議(8/29) 提言(「福岡の教育」ビジョン)の本質的課題と対応策等の集中審議			
9月	第2回会議の議事録送付と本質的課題への対応の概要(9月中旬) 第3回会議(9月下旬) 本質的課題への対応策の集中審議(前回の追加審議とまとめ) 第一次提言の骨子案			
10月			地区分科会開催(6カ所) 第一次提言骨子案について	
11月	第4回会議(11月中旬) 第一次提言案に対する意見交換			
12月	第5回会議(12月中旬) 第一次提言案の最終審議 知事に提言(12月下旬)			
1月		専門部会第1回(1月中旬) 第一次提言実行の県民運動について		
2月		専門部会第2回(2月中旬) 第一次提言実行の県民運動について		
3月		専門部会第3回(3月中旬) 第一次提言実行の県民運動について		
4月	第6回会議(4月下旬) 第二次提言案の審議			
5月			地区分科会開催 第二次提言案(県民運動)について	
6月	第7回会議 第二次提言案の最終審議と知事提言			

第1回会議における意見交換のまとめ

	学ぶ意欲の低下	自尊感情の喪失	社会と自分との 関わり意識の希薄化 (規範意識 モラル低下)	体力の低下
子供の現状	<p>理解が早い子とそうでない子の差が大きい。 苦勞しないで課題を解決したいと思う生徒が増えてきている。</p> <p>学習意欲は「学習指導要領が変わったから」ではなく、40年間継続して低下。 家庭環境、生活習慣、学力の差が学習意欲に繋がっている。</p> <p>言われた事しかやらない生徒が増えている。 落ちている能力は、判断力、交渉力、世界的な枠組みの理解</p>	<p>弱いものへの思いやりがない</p> <p>日常生活における過剰体験と欠損体験がアンバランス。</p> <p>自己主張ができないなど自発性が発達していない。</p> <p>子供が自立できない状態になっている。</p>	<p>善悪の判断ができない。</p> <p>子供の自律性が遅れている、</p> <p>コミュニケーション能力が低下。(幼児期からテレビで育つ)</p> <p>遊びがほとんどできず、人間関係もうまく築けない。</p> <p>有害情報の判断ができていない。</p>	<p>切磋琢磨して運動する機会が少ない。</p> <p>社会の治安の悪さが子供の遊びの機会を奪っている。</p> <p>全てが平等で競争心が無くなっている。</p> <p>気力のない子供が増えている。</p>
要因	<p>学習習慣が身につけていない。</p> <p>子供が工夫、創造する前に、いろいろ与えて、意欲を低下させている。</p> <p>親が先生の悪口を言う。教師が威信を失いかけている。</p>	<p>子供の内面に響く学校での指導が不十分</p> <p>家庭教育における基本的な生活習慣が不十分</p> <p>人や社会に貢献する喜びを実感することが少ない。</p> <p>子供の生活体験、社会体験が非常に乏しい。</p>	<p>保護者が子育てやしつけが分からない。</p> <p>親が授業参観に来て、参観後の懇親会に参加しない</p> <p>PTAに参加して欲しい人がなかなか来ない。</p> <p>親が子供を教育する姿勢になっていない。</p> <p>大人も子供も聞く力を養う。</p>	<p>子供のチャレンジ精神を押さえてしまう。</p> <p>大人の都合で子供の生活が守られていない。</p>
課題解決の方向性	<p>生徒が失敗しながら成功を重ねていく経験をさせる。</p> <p>自分の将来のプランを考えた上で、勉強させる。</p> <p>学力だけでなく、自分の将来設計、人生を考えさせる。</p> <p>外国語や国語などでは学ぶ過程をそのまま学校教育に持って来る。</p> <p>学ぶことの意義を理解し、分かることの喜びを実感させる学習指導</p> <p>自ら学ぶ力が身に付く抜本的な授業改善</p> <p>理屈をきちんと明確にした上で、暗記させる。</p> <p>メディアの有効活用</p> <p>小学校の専科教員は考えられないか。</p> <p>学校と家庭が協力して、望ましい学習習慣を身に付けさせる取組をする。</p> <p>「学びたい」という意欲を持てるような社会の形成</p>	<p>心豊かな生徒の育成に学校と地域が連携し取り組む。</p> <p>自炊しながら共同生活をして、学校に通学する体験をさせる。</p> <p>子供を認める。「認められた」という気持ちにさせる。</p>	<p>学校と保護者が信頼関係を結ぶような状況づくり</p> <p>インターネットを活用した子育て、幼児教育の情報提供</p> <p>双方向メディアの活用によるコミュニケーション能力の育成。</p> <p>地域、学校、園によるテレビ視聴をコントロールする運動</p>	<p>競争する心を満たす取組</p> <p>いろいろな運動により調整力が、長い運動で持久力が、早い運動で敏捷性が育つ。</p> <p>子供の運動の機会を増やす。</p> <p>近隣校同士での合同運動会の実施</p> <p>子供の体験活動に団塊の世代の男性の参加を促す。</p>